



YASKAWA

株主のみなさまへ

第85期中間報告書

平成12年3月21日～平成12年9月20日



機械と人間の共生へ - Quality & Beauty

株式会社 安川電機



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第85期上半期(平成12年3月21日から平成12年9月20日まで)の業績について、概要をご報告申し上げます。

当上半期のわが国経済は、政府の景気回復に重点を置いた経済、財政運営による政策効果に加え、民間設備投資が情報技術(IT)関連分野を中心に拡大しており、回復に向けた動きが続いております。

海外では、米国は個人消費などに減速が見られますが、景気は拡大を続けており、欧州およびアジアも堅調に推移してまいりました。

このような経済環境の下、当社では昨年度からスタートした中期経営計画“Win21”において、高収益企業体質への転換を目指し、各種の構造改革に積極的に取り組んでおります。当上半期は、とくに事業構造および企業構造の改革として、中核事業であるACサーボ、インバータ、産業用ロボット、超メカトロ製品などのメカトロ事業分野の強化を図ってまいりました。

具体的には、現在、技術革新の著しい半導体製造装置分野で注目され、今後、大きな伸びの期待されている局所クリーンルーム技術に関わる半導体システム事業へ参入するため、ハントエア社(米国)から局所クリーンルーム事業部門を買収し、新たにシナティクス ソリューションズ社を米国オレゴン州ポートランドに設立、事業を開始するとともに、情報技術(IT)関連業界のお客様の多い米国シリコンバレーに開発センタを新たに設置し、マーケットのニーズに対応した研究・開発を行ってまいります。

また、NC装置を主な製品とする工作機械システム事業分野強化のため、昨年の産業用ドライブシステム分野につづき、本年10月からシーメンス社(ドイツ)との合弁事業を開始させました。

さらには、移動体通信機器やパソコンの部品などの組立、搬送分野における小物搬送ロボットにおいて、アデプト社(米国)とOEM(相手先ブランドによる生産)提携を行いました。

つぎに、経営構造の改革としては、基幹事業毎に業績評価制度を導入し、成果に連動した報酬制度への移行に取り組んでおります。

また、財務構造の改善では、徹底したコスト削減と生産性向上を実現するため、受注から生産、輸送、保管、納入までの全工程の最適化体制を目指し、いわゆるサプライチェーン・マネジメン

トシステム構築に着手することにより、棚卸資産の圧縮を図るとともに、受取債権の圧縮に取り組み、有利子負債の削減に努めております。

この結果、当上半期の業績につきましては、中核事業分野であるメカトロ機器およびメカトロシステム部門で、半導体製造装置業界、電子部品実装装置業界からの受注が引き続き高水準に推移したことに加え、工作機械業界や自動車関連業界からの受注も回復してきたことなどにより、全体としては、受注高は前年同期比35.6%増の827億71百万円、売上高も前年同期比30.3%増の724億55百万円となりました。

損益面では、ユーロ安などの為替変動の影響を受けたものの、経常利益7億21百万円を確保いたしました。中間純損益は、事業構造改善費用のほか保有株式の評価損などがあり、特別損失29億4百万円を計上したため、8億53百万円の損失となりました。

今後の見通しにつきましては、ユーロ安、原油高などの影響、米国経済の減速懸念などもあり、必ずしも楽観視できる状況にはありませんが、当社としては、引き続き、中期経営計画“Win21”の目標実現に向けた構造改革をスピードをあげて実施し、高収益企業体質への転換を図ってまいります。

まず、事業構造および企業構造改革では、当上半期に着手した中核事業強化策を確実に実行するとともに、受注増加に対応し生産性向上のための設備投資を積極的に実施いたします。また、お客様へのソリューション(問題解決)提供型ビジネスの強化を図るため、東京工場内にソリューションセンタを設置し、グローバルに市場動向、お客様情報等を収集するとともに、お客様の新しい機械システム構築にスピーディに対応できる技術、設備、商品を準備し提供してまいります。

経営構造の改革では、CS(Customer Satisfaction お客様の満足度向上)を基軸にした活動を積極的に実施してまいります。具体的には、社長を本部長とするCS推進本部を設置し、各事業に亘って、お客様の立場に立った良い製品、サービスを提供し、お客様の満足をなお一層いただけるよう全社的運動を展開することにより、事業の持続的発展を図ってまいります。

財務構造の改善では、グループ全体での資金効率の向上に取り組むとともに、引き続き、サプライチェーン・マネジメントシステムの展開による棚卸資産の削減を中心に有利子負債の圧縮に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年11月

取締役社長



## メカトロ機器部門

当部門では、パソコンや移動体通信、デジタル家電などの旺盛な需要を背景に、半導体製造装置および電子部品実装装置向けのACサーボが大きく伸長したことに加え、工作機械向けのNC装置も回復してまいりました。

この結果、部門全体では、受注高は前年同期比45.5%増の409億5百万円、売上高も前年同期比36.8%増の363億25百万円と、いずれも半期では過去最高となりました。

## メカトロシステム部門

当部門では、産業用ロボットが、主力のアーク溶接用途において自動車関連業界の設備投資が回復したことに加え、前年度末から急激に受注が拡大している液晶ガラス搬送用途も堅調で、高水準の受注となりました。また、半導体製造装置向けクリーン・真空内搬送システム等の超メカトロ製品も、最終需要家であるデバイスメーカーの投資が活発であったことから、極めて好調に推移いたしました。

その結果、受注高は前年同期比95.0%増の264億68百万円、売上高も前年同期比69.1%増の228億41百万円と、いずれも半期では過去最高となりました。

## 産電機器部門

当部門では、一部部門の営業譲渡および中・大形モータ事業を分社化したことなどの影響を受け、受注高は前年同期比23.7%減の69億35百万円、売上高も前年同期比18.8%減の81億58百万円となりました。

## 産電システム部門

当部門では、鉄鋼プラント用電機システム等が減少したことおよび一部部門を営業譲渡したことなどの影響を受け、受注高は前年同期比17.5%減の84億63百万円、売上高も前年同期比6.3%減の51億32百万円となりました。

新形塗装ロボット2機種を販売開始しました。

「MOTOMAN-PX2900」は、自動車ボディ塗装用の大形ロボットです。塗装品質の向上、タクトタイムの短縮及び無駄な塗装の低減による生産性向上を実現します。

「MOTOMAN-PX800」は、6軸垂直多関節形としては世界最小の塗装ロボットです。狭いブースへの設置が可能で、自動車や家電製品の小物部品の塗装に最適です。



MOTOMAN-PX2900

ご好評をいただいているACサーボドライブΣ-シリーズのサーボアンプに取付けて使用できるDeviceNet対応ユニットとPROFIBUS-DP対応ユニットを発売しました。これにより、業界標準のオープンネットワークに対応できます。また、位置決め機能も内蔵しているため、国内外の自動車生産ライン、半導体製造装置を中心とした位置決め用途で、今まで以上の利便性を提供します。



## 産業用ロボットで米国アデプト社とOEM提携

成長著しいモバイル機器、パソコン部品などの組立、搬送分野への事業拡大のため、本年8月29日に米国ロボットメーカーのアデプト社とOEM供給契約を締結しました。

アデプト社はロボットとビジョンを組み合わせ販売しており、小物搬送用ロボットでは欧米でトップシェアを有しています。当社は、小形ロボットとクリーンロボットの計6機種を対象に9月からOEM供給を開始し、販売力の強化を図ります。



OEM供給を開始した小形ロボットの一例“ MOTOMAN-SV3X ”

## 工作機械システム事業の領域で、シーメンス社との合併事業開始

当社とドイツ シーメンス社とは、工作機械システム事業の領域で合併事業を行うことで合意し、本年10月23日から合併会社 安川シーメンス エヌシー株式会社として事業を開始しました。

ACサーボでトップシェアの当社とCNCシステムで世界シェア2位のシーメンス社のパワーを結集し、オープンCNCの品ぞろえ、ソフトウェア開発の強化及びグローバルサービスネットワークの充実を図りました。お客様のニーズに幅広くお応えするとともに、業界で確固たる地位を確立していきます。



# 中間要約貸借対照表(平成12年9月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	112,545	流動負債	80,941
現金及び預金	8,927	支払手形	5,435
受取手形	13,459	買掛金	30,753
売掛金	34,656	短期借入金	27,497
有価証券	13,189	未払法人税等	47
たな卸資産	30,603	未払費用	9,170
その他	8,799	その他	8,037
貸倒引当金	6		
繰延税金資産	2,915	固定負債	49,066
		社債	10,000
固定資産	55,202	転換社債	15,000
有形固定資産	26,078	長期借入金	10,432
無形固定資産	3,173	退職給与引当金	13,634
投資その他の資産	23,047		
貸倒引当金	227		
繰延税金資産	3,130	負債合計	130,007
		資本の部	
		資本金	15,540
		資本準備金	14,749
		利益準備金	2,603
		その他の剰余金	4,846
		任意積立金	4,820
		中間未処分利益	26
		資本合計	37,740
資産合計	167,747	負債及び資本合計	167,747

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。

# 中間要約損益計算書

(単位：百万円)

自平成12年3月21日 至平成12年9月20日

経常損益の部	
営業損益	
売 上 高	72,455
売 上 原 価	54,879
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,163
営 業 利 益	412
営業外損益	
営 業 外 収 益	1,510
受 取 利 息 ・ 配 当 金	917
雑 収 益	592
営 業 外 費 用	1,200
支 払 利 息 ・ 割 引 料	792
雑 損 失	408
経 常 利 益	721
特別損益の部	
特別利益	809
特別損失	2,904
税引前中間純損失	1,373
法人税・住民税及び事業税	36
法人税等調整額	556
中 間 純 損 失	853
前 期 繰 越 利 益	880
中 間 未 処 分 利 益	26

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しています。



取締役会長	永次	廣
取締役社長	中山	眞
取締役副社長	齊田伸雄	
専務取締役	山口	修
専務取締役	濱田淳一	
常務取締役	野口	宰
常務取締役	中村	功
常務取締役	利島康司	
取締役	石川敬一	
取締役	浜本浩志	
取締役	田中健	
取締役	高橋剛史	
取締役	松本健一	
取締役	羽鳥正一	
取締役	重田光雄	
常任監査役(常勤)	伊藤隆興	
監査役(常勤)	友枝親治	
監査役	中村正徳	
監査役	木原誠一郎	

- 商号 株式会社安川電機
- 英文社名 YASKAWA Electric Corporation
- 設立 大正4年7月16日
- 従業員 3,302名
- 主要製品 【メカトロ機器】  
ACサーボモータ・制御装置、インバータ、NC装置、工作機械用主軸モータ・制御装置、FAコントローラ、プログラマブルコントローラ、DCサーボモータ・制御装置、OA機器用サーボモータ、高速モータ、ビジョンセンサ
- 【メカトロシステム】  
産業用ロボット、配電作業ロボット、クリーンロボット、真空ロボット、サービスロボット、クリーン・真空内搬送システム、リニア・三次元モータ
- 【産電機器】  
電動機、発電機、VSモータ、高効率電動機、制御装置、電磁ブレーキ、電力用開閉器、遮断器、高圧開閉器、受配電盤、電磁攪拌装置
- 【産電システム】  
鉄鋼プラント用電機システム、セメントプラント用電機システム、製紙プラント用電機システム、環境設備用電機システム、プラスチック・フィルム製造設備用電機システム、輪転機用電機システム、繊維機械用電機システム、荷役機械用電機システム、FA・情報システム
- 事業所 本社 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 〒806-0004  
電話(093)645-8801
- 東京支社 東京都港区海岸一丁目16番1号 〒105-6891  
電話(03)5402-4511
- 名古屋支店 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 〒450-0002  
電話(052)581-2761
- 大阪支店 大阪市北区堂島二丁目4番27号 〒530-0003  
電話(06)6346-4500
- 中国支店 広島市中区基町11番10号 〒730-0011  
電話(082)228-2451
- 九州支店 福岡市中央区天神一丁目9番17号 〒810-0001  
電話(092)714-5331
- 工場 八幡・小倉・行橋・入間
- 営業所 札幌・青森・盛岡・新潟・東北(仙台市)・郡山・長野・山梨(甲府市)・横浜・八王子・浜松・京滋(京都市)・北陸(金沢市)・神戸・四国(高松市)・岡山・豊田・広島・北九州・熊本
- 海外拠点 シカゴ・ロサンゼルス・デイトン・ポートランド・フリーモント(米国)・サンパウロ・ロンドン・グラスゴー・フランクフルト・ミュンヘン・トーサス(スウェーデン)・北京・上海・香港・ソウル・シンガポール・台北・クアラルンプール・バンコク・テルアビブ

会社が発行する株式の総数	560,000 千株
発行済株式総数	232,059 千株
株 主 数	21,501 名
主要大株主	
三菱信託銀行株式会社(信託口)	10,784 千株
株式会社第一勧業銀行	9,473 千株
明治生命保険相互会社	8,108 千株
株式会社三和銀行	6,470 千株
株式会社福岡銀行	6,375 千株
東洋信託銀行株式会社(信託勘定A口)	6,324 千株
中央三井信託銀行株式会社	6,221 千株
株式会社大和銀行信託口G	5,949 千株
日興信託銀行株式会社(信託財産口)	5,731 千株
年金信託受託者中央三井信託銀行株式会社2口	4,929 千株

## 株主メモ

決 算 期	3月20日
定時株主総会	6月
基 準 日	3月20日
	そのほかあらかじめ公告して定める日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋・福岡
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 東洋信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 〒137-8082
(郵便物送付先)	東洋信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話(03)5683-5111
同 取 次 所	東洋信託銀行株式会社 各支店 野村證券株式会社 本店・各支店

# YASKAWA

表紙写真：「Varispeed F7」は、ファン・ポンプから一般産業用機械まで、幅広い用途で省エネ・高性能を実現する電流ベクトル制御汎用インバータです。当社インバータ事業の核となる商品で、高いコストパフォーマンスを持ち、新規市場開拓に力を発揮します。